

■都市OS・DXの取り組みについて主な意見

(全体)

- ・都市OSは、推進主体の設置から始めるべき
 - ・価値のあるデータを集める仕組みが必要
 - ・集めたデータがどう利用者に活用されているか、把握する仕組みがあるとよい
 - ・テーマを絞ったスモールスタートで始め、アジャイル的にすすめるべき
 - ・行政だけではなく、市民・企業・大学などを巻き込んで進めるべき
 - ・取り扱うデータは個人情報に配慮すべき
 - ・地域の資源を吸い上げる仕組みがあるとよい
 - ・基盤はあとで決めればよいが、オープンソースを念頭に考えるべき
-
- ・市役所内のDX関連の好事例はどんどん発信すべき
 - ・紙の削減については、ゴールを設定すべき

(都市OSについて)

- ・まずは推進主体の設置をすべき。
- ・データの使われ方がわかる仕組みがあるとよい。
- ・テーマの設定は、市だけで考えるのではなく、市民や企業を巻き込んで行うべき。
- ・推進主体についても、最初から企業や大学などを巻き込んで行うべき。
- ・広域（石川中央都市圏）で基盤を運営してもよいのでは。
- ・スモールスタート、アジャイルで進めていくべき。
- ・データによっては申請や提供者の同意が必要なものがあるため、データ収集のマニュアルが整備されるとよい。
- ・警察は様々なデータを持っているが出してもらうのが大変に思う。交差点の事故情報など、市民からしたら出してほしいデータがたくさんあるので、もう少し容易に提供してもらえるよう交渉できないか。
- ・基盤についてはあとで決めればよいが、オープンソースを念頭に考えるべき。

(市のDX取組について)

- ・市役所内の好事例について、どんどん情報発信していくべき。
- ・職員への好事例の発信については、管理職からおろしていくのではなく、直接通知するほうがよい。
- ・コピーやプリンターの利用削減状況について、経過を出すだけでなく、ゴールを設定すべき。職員のモチベーションアップにもつながる。
- ・組織内のコミュニケーションについて、伝えたいことは7回繰り返さないと伝わらないといわれている。繰り返し伝えていく姿勢が大切。
- ・プリンターとコピー、どちらの方がコスト安いかという視点で使い方を周知してもよいのではなか。
- ・紙を減らすための別の視点として、紙で作成する資料を集約したり、内容をわかりやすくするとよい。紙の削減と合わせて、サービスの向上にもつながる。